

2023年5月11日

各 位

会社名 荒川化学工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 宇根 高司
(コード番号 4968 東証プライム市場)
問合せ先 常務取締役経営企画本部長 高木 信之
T E L (06) 6209-8500 (代表)

特別損失の計上および2023年3月期通期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2023年5月11日開催の取締役会において、下記のとおり、2023年3月期決算に特別損失を計上することを決議しましたのでお知らせいたします。また、2023年2月2日に公表しました2023年3月期通期（2022年4月1日～2023年3月31日）の連結業績予想と実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

(1) 減損損失および事業整理損の計上

2022年9月27日にお知らせしましたとおり荒川ヨーロッパ社（ドイツ）における水素化石油樹脂の製造終了を決定したため、2023年3月期の連結決算において製造設備の帳簿価額全額（18億38百万円）を減損損失、および関連する費用（12億5百万円）を事業整理損として特別損失に計上いたしました。

(2) 関係会社株式評価損の計上

当社が保有する関係会社株式のうち、連結子会社である千葉アルコン製造株式会社の株式について、個別貸借対照表上の簿価に対して実質価額が著しく低下したため、2023年3月期の個別決算において関係会社株式評価損（15億78百万円）を特別損失に計上いたしました。

(3) 関係会社出資金評価損の計上

当社が保有する関係会社出資金のうち、連結子会社である荒川ヨーロッパ社（ドイツ）の出資金について、個別貸借対照表上の簿価に対して実質価額が著しく低下したため、2023年3月期の個別決算において関係会社出資金評価損（54億34百万円）を特別損失に計上いたしました。

(4) 債務保証損失引当金繰入額の計上

上記（1）の事象により荒川ヨーロッパ社（ドイツ）は債務超過となったため、2023年3月期の個別決算において超過額を債務保証損失引当金繰入額（2億29百万円）として特別損失に計上いたしました。

なお、上記（2）～（4）の個別決算における特別損失は、当社の個別財務諸表のみに計上されるものであり、連結決算においては消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

2. 2023年3月期通期連結業績予想と実績との差異（2022年4月1日～2023年3月31日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	81,000	△2,300	△2,100	△3,900	△196円58銭
実績値（B）	79,431	△2,907	△2,687	△4,941	△249円08銭
増減額（B－A）	△1,569	△607	△587	△1,041	－
増減率（％）	△1.9	－	－	－	－
（ご参考）前通期実績 （2022年3月期）	80,515	3,304	3,566	1,502	75円75銭

3. 差異の理由

当連結会計年度における当社グループの業績は、ロジンや石化原料などの原材料価格やエネルギーコストの大幅な上昇に加え、半導体の需給変動による電子部品を中心とした幅広い分野での需要環境変化が収益性に大きく影響しました。主力である光硬化型樹脂は、スマートフォンやディスプレイ関連分野での生産調整による需要の落ち込みが予想以上となり、加えて、堅調に推移していた板紙需要の減少による国内での紙力増強剤の販売減少や、好調を維持していたデータセンター投資の減速による精密研磨剤の大幅な販売減少などが大きく影響し、売上高、営業利益、経常利益ともに前回発表予想を下回りました。また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、固定資産の譲渡による特別利益の計上がありました。荒川ヨーロッパ社（ドイツ）における水素化石油樹脂の製造終了を決定したことにもなう特別損失の計上により、前回発表予想を下回りました。

以上